



令和7年度決算審査意見書

地方自治法と地方公営企業法の規定により、市の監査委員が、令和7年度の決算書と関係資料などを確認し、予算が適正で効果的に執行され、会計処理が適正に行われているかなど審査しました。

監査委員事務局 ☎(42)1120

●**決算審査期間** 6月2日(火)から8月24日(月)まで、藤野修一監査委員と伊藤郁也監査委員、高橋勝男監査委員が審査を行い、9月3日(木)に市長へ意見書を提出しました。

●**審査結果** 一般会計・特別会計・事業会計の決算と基金の運用状況などを審査した結果、決算書などの計数は正確で、その内容や予算執行状況も適正で妥当と認めました。

●**一般会計・特別会計・基金運用状況** 令和7年度は、第2次栗原市総合計画後期基本計画の4年目として、幅広い分野で事業が実施されました。

新規事業として、保健福祉分野では、高齢者補聴器購入助成事業や妊婦のための支援事業により、社会交流の促進やフレイル予防、妊娠期から子育て期までの

が行われました。実質赤字比率や連結実質赤字比率が赤字なしで推移するなど、財政健全化判断比率は健全な水準にあるものの、将来負担比率は増加傾向にあります。

●**水道事業会計** 配水管路の耐震化や石綿セメント管の更新など、施設整備を進めると共に、日常的な点検や改修を行い、安全・安心な水道水を安定供給するための取組が行われた一方、經常収支比率は100パーセントを下回るなど、厳しい経営状況にあります。

●**下水道事業会計** 水洗化率が向上した一方、下水道使用料収益の減少により、純損失を計上するなど、厳しい経営状況にあります。

●**病院事業会計** 第四次経営健全化計画に基づき、急性期・救急、在宅医療、慢性期医療を担い、機能分化を進めながら、自治体病院と

向上に取り組むと共に、計画的な施設更新や統廃合等による経費縮減を進め、健全な経営を確立することが求められます。

●**下水道事業会計** 水洗化率が向上した一方、下水道使用料収益の減少により、純損失を計上するなど、厳しい経営状況にあります。

●**病院事業会計** 第四次経営健全化計画に基づき、急性期・救急、在宅医療、慢性期医療を担い、機能分化を進めながら、自治体病院と

して良質な地域医療の提供と経営改善の取組が行われました。

一方、患者数の減少により診療収益が減少し、多額の純損失を計上しています。未処理欠損金は127億円余に達し、資金不足比率は、平成20年度の算定開始以来初めて7.5パーセントとなりました。現在の経営状況が続けば、法律の規定により、経営健全化計画の策定が必要となる経営健全化基準に達する恐れがあります。医療収益の改善は、喫緊の課題です。将来にわたり安定的かつ継続的に質の高い医療を提供できるよう、健全経営に尽力されることを強く望みます。

※意見書の全文は、市ウェブサイトに掲載しています。



▲監査委員が市長に意見書を提出

栗原市表彰式を開催

各分野で活躍された人を表彰します。観覧は、誰でもできます。ぜひ、お越しください。

●**日時** 11月23日(月) 午前10時30分～ ※午前9時30分開場

●**場所** 栗原文化会館

●**問 総務部総務課**

☎(22)1122

移住定住を応援 さざぼろ交流会開催

移住者や移住を検討中の市内への移住を応援する地域の人たちが集う交流会を開催します。

●**日時** 12月16日(水) 午後6時30分～8時30分

●**場所** ホテルグランドプラザ浦島(築館地区)

●**対象** 市内に居住する人や市内への移住を応援する人、移住検討中の人

●**定員** 60人

●**費用**

□**大人** 5千円

□**中学生** 3500円

□**小学生** 3千円

□**3歳～未就学児** 1500円

●**申し込み** 12月10日(木)までに問い合わせ先に備え付

けの申込書 に必要事項を記入の上、ファクスで提出するか、移住定住サイト一きてみらいにくらしたい栗原から申し込みください。



※詳しくは、移住定住サイトで確認するか、問い合わせください。

●**問 企画部定住戦略室**

☎(22)1125

ファクス ☎(22)0313



4市町合同婚活イベント

栗原市、登米市、岩手県一関市、平泉町の4市町で一関市、平泉町を巡る2日間の婚活ツアーを開催します。

●**日時** 12月12日(土) 12月13日(日)

午前11時～午後6時30分

※2日間とも参加が必要です。

●**対象者** 25～45歳の独身の男女

※男性は、栗原市、登米市、岩手県一関市、平泉町のいずれかに居住する人に限ります。

●**定員** 男女各25人 ※申し込み多数の場合は抽選

●**参加費** 1万千円 ※飲食代を含みます。

●**申し込み** 12月2日(水)まで、公式LINE「OMI A-トラベル」から申し込みください。



●**問 企画部定住戦略室**

☎(22)1125

アルコール関連問題 啓発週間

11月10日(火)から16日(月)は、アルコール関連問題啓発週間です。お酒は、私たちの生活に豊かさや潤いを与える一方、過度の飲酒は、心や身体に大きな影響を与えます。

厚生労働省は、飲んだお酒が体内で分解されるまでの目安時間をチェックできるウェブサイト「アルコールウォッチ」を公開しています。



●**問 市民生活部健康推進課**

☎(22)0370



市長随感

栗原市長 佐藤 智

マガンが舞う、栗原の風景

11月を迎えた伊豆沼、内沼では、マガンの飛来がピークとなり、朝夕には、群れで、沼の水面や周辺の田んぼで羽を休める姿が見られるようになります。

今年は何年より早い9月10日に、28羽のマガンの初飛来が確認され、観測史上最も早い記録となりました。長い旅を経て栗原へやって来ることに、自然の営みの雄大さを感じます。

私は、マガンの群れが一斉に羽ばたき、整然と列をなして空を飛び姿を目にする、その壮大な光景に心を奪われると共に、毎年変わらず訪れてくれることをうれしく思います。私たちにとって、これは身近な風景ですが、遠くからこの景色を楽しみに訪れる観光客や愛鳥家の皆さんにとって、栗原ならではの貴重な



▲朝焼けの空を飛ぶマガン